

みずほCustomer Desk Report 2019/04/09号(As of 2019/04/08)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	111.48 AUD/USD
TKY 9:00AM	111.71	1.1219	125.31	1.3035	0.7100
SYD-NY High	111.73	1.1275	125.61	1.3073	0.7131
SYD-NY Low	111.29	1.1212	124.99	1.3025	0.7088
NY 5:00 PM	111.50	1.1260	125.57	1.3063	0.7125
NY DOW	26,341.02	▲ 83.97	日本2年債	-0.1600	0.00bp
NASDAQ	7,953.88	15.19	日本10年債	-0.0500	▲2.00bp
S&P	2,895.77	3.03	米国2年債	2.3587	1.63bp
日経平均	21,761.65	▲ 45.85	米国5年債	2.3248	1.69bp
TOPIX	1,620.14	▲ 5.61	米国10年債	2.5195	2.15bp
ソコ日経先物	21,815	▲ 60	独10年債	0.0055	0.00bp
ロンドンFT	7,451.89	5.02	英10年債	1.1130	▲0.20bp
DAX	11,963.40	▲ 46.35	豪10年債	1.8640	▲3.45bp
ハンセン指数	30,077.15	140.83	USDJPY 1M Vol	5.00	0.15%
上海総合	3,244.81	▲ 1.76	USDJPY 3M Vol	5.56	0.01%
NY金	1,301.90	6.30	USDJPY 6M Vol	6.18	0.04%
WTI	64.40	1.32	USDJPY 1M 25RR	-1.03	Yen Call Over
CRB指数	188.70	1.02	EURJPY 3M Vol	6.57	▲0.05%
ドルインデックス	97.06	▲ 0.34	EURJPY 6M Vol	7.16	0.08%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月8日	09:30	日 黒田日銀総裁 講演		「当面は海外減速の影響を受ける」
	23:00	米 製造業受注(前月比)	2月 -0.5%	-0.5%
	23:00	米 耐久財受注(前月比)・確報	2月 -1.6%	-1.6%
	23:00	米 耐久財受注(除輸送用機器)・確報	2月 -0.1%	0.1%

【本日の予定】

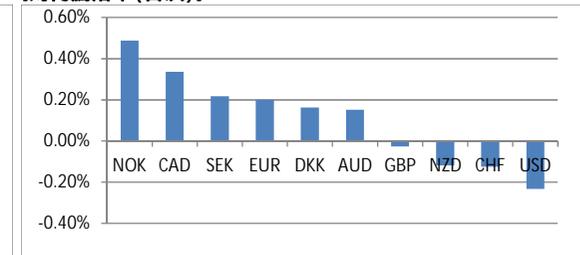
Date	Time	Event	予想	前回
4月9日	17:00	伊 小売売上高(前月比)	2月 -0.2%	0.5%

東京	東京時間のドル円は111.71レベルでオープン。日経平均株価が前営業日比マイナス圏に沈む動きとなったことやトランプ大統領との対立が報じられていたニール・ミル米国土安全保障長官が辞任を表明したこと等からドル円は軟調推移となり111.40まで下落。一旦は111円台半ばを回復する局面も見られたものの、午後に入り再び下げ幅を拡大し一時111.35まで下落。その後111円台前半で上値の重い推移が続いたが、引けにかけて小幅に反発し、111.44レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は111.44レベルでオープン。特段目新しい材料が見られない中、111.40-111.50の狭いレンジで推移。111.45レベルでNYに渡った。ポンドドルは1.3055レベルでオープン。メイ英首相が翌9日、メルケル独首相・マクロン仏大統領と会談するとの報道がなされたものの、市場の反応は限定的。今週10日のEU臨時サミット控え、1.3043-1.3066の狭いレンジで小動き、1.3048レベルでNYに渡った。(ロンドン17:00)
ニューヨーク	NY時間のドル円は111.45レベルでオープン。朝方はトランプ大統領が、イランの革命防衛隊をテロリストに指定したことや、リビアの内戦本格化懸念から、原油と金価格が急伸し、ドル売りが強まったことから、ドル円は111.29まで下落する。その後は、米2月製造業受注、耐久財受注のハイトランがどちらも予想と一致し、ドル円の反応は限定的となるが、ロンドンフィックスに掛けてドル円が買われたことから、111.53まで戻す。午後に入り111.44まで下押しする局面もあったものの、軟調に推移していた株式市場が下げ幅を縮小させる展開に円売りが優勢となり、ドル円は111.54まで戻し、111.50レベルでクローズした。一方、海外市場でドル売りが強まり、じり高で推移したユーロドルは、1.1247レベルでNYオープン。今週はECB理事会が水曜日にあることから、結果が注目される中、米通信会社が「ECBはマイナス金利見直しを急いでいない」との内容の記事を出したが、ユーロ売りは強まらず、その後はドル売りにユーロドルは下値を切り上げ、1.1275まで戻す。その後は上昇していた原油価格が落ち着く動きにドルがやや買戻され、ユーロドルは1.1258まで反落する。午後は、狭いレンジでの推移が続き、1.1260レベルでクローズした。(NY井上)

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	111.20-112.10	1.1180-1.1280	124.60-125.80

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円は特段大きな材料に欠ける中、小幅なレンジ内で推移。東京と欧州時間は株式市場が全体的に弱含んで推移するも、ニューヨーク時間に入るとアラムコ社による大型起債が正式にアナウンスされて、米債もスティープ化が強まったため、結果ドル円はレンジ内での推移。今週は水曜日にECB会合や米CPI、FOMC議事録を控えており、引き続き様子見ムードが強い中、大きな方向感に欠ける状況であり、ドル円はレンジ内での推移を予想。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 百瀬・森谷